



2012 年新委員会活動発足

2014 ビジョン実現に向かって今年も新たに取り組みます!

2014 ビジョン推進室

生活・感情の豊かさ・連帯感・ 自律心・教育・誇り。ビジョン6項目 達成のため、顔ぶれも新たに、更なる ビジョン推進を図ります。各委員会 活動の横のつながりを推進し、従業 員満足度の向上とステークホルダー や社会の幸福に向けて取り組んでい きます。(倉橋副室長)



ES 向上委員会

ひとりひとりの従業員満足度向上のため、『対話』をキーワードに業務への意欲向上の動機づけをしていきます。「社内行事のコラージュ掲示」「ありがとうカードのリニューアル」等、すでに大好評の活動を進めています。これからの活動も乞うご期待! (梶原委員長)



CSR 推進委員会

「CSRの和」発行を始めとする様々な情報発信や各種ボランティア活動への参加などを通じ、お客様との活発なコミュニケーション実現を推進いたします。ホームページやfacebookなども有効に活用し、他委員会との連携を通じて活動を発展させてまいります。(前村委員長)



品質・サービス向上委員会

品質管理体制を確立し、間違いのない製品づくりと 品質保証、あらゆるサービスレベルの向上を目的に活動 していきます。メンバー全員で知恵を出し合い協力

して、1 年後には品質の向上と大川流サービスの確立がなされるように頑張っていきたいと思います。(高橋委員長)

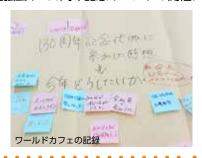


130 周年記念プロジェクト企画運営委員会

創業 130 周年を記念して従業員にもお客様にも喜んで頂けるような取組みを行います。大川印刷の歴史をストーリーテリング形式で伝える勉強会や130周年記念イベントの開催、

130周年記念グッズの制作を行います。

歴史を通じて当社で 働く事に誇りを感じ、 感謝の気持ちを皆様に 伝えていけたらと思い ます。(荒井委員長)



グリーンプリンティング認定制度を取得しました

3月14日にグリーンプリンティング認定制度(GP)を本社工場と横浜営業所、両方同時に取得をすることができました。

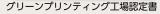
GPマークは、日本印刷産業連合会が定めた印刷会社の自主規制であるグリーン基準で、営業から納品まですべてが環境対応製品になっているとの証明ができる制度です。

考え方は、当社のエコラインと同じになりますが、GP マークには、

星の数があり、ワンスター、ツースター、スリースターとあり、星の数が多いほど、より環境に良い製品であることが視覚的に表現されます。

4月1日現在、全国で280工場が認定を受けていていますが、神奈川県内では、当社で3社目の認定となり、他社との差別化においても重要なことから、これを機に更なる環境対応を進めていきたいと感じました。(佐藤サブリーダー)







アースデイ東京 2012 参加報告

アースデイ東京 2012 に大川印刷もブース出展いたしました!

4月21日(土)22(日)、代々木公園で開催された「アースデイ東京2012」に出展いたしました。例年のアース デイと違い、今年は福島のこどもたちを招待しての開催ということで当社のブースもマーブリング制作体験や生物多 様性クイズなどのキッズプログラムを準備しました。「きれい!」「もう一度やりたい!」「勉強になった」など、こど もたちだけでなく大人や年配の方まで多くの方に体験していただき、笑顔があふれた大盛況の2日間でした。(佐々木)



TOPICS 1 大川社長講演報告

5月22日(火)、大川社長が横浜国立大学経営学部で 特別授業を行いました。「経営者から学ぶリーダーシップ

と経営理論」に ついて、500 名を 超す学生が集まり、 社長の一言一言に 真剣に耳を傾ける 姿がとても印象的 でした。(赤城)



TOPICs3 おもやりライト参加報告

4月14日(土)、「おもいやりライト運動」のイベント 「よこはまシャルソン」に参加しました。「おもいやり ライト運動」とは、ドライバーにとって歩行者が見え づらく、歩行者もクルマの接近に気づけず交通事故が 一番多い 16 時~ 18 時にヘッドライトを早めに点灯 して交通事故を削減しようとする運動です。この 運動を広めるために行ったこのイベントは、トレード カラーの黄色いTシャツを着て街に出た人々同士が挨拶 をかわすという偶然の出会で繋がりを築く新しい形の

マラソンイベントと しても大きな話題を 呼びました。当日は 雨模様でしたが、参 加メンバーそれぞれ に街をゆっくり走り 運動不足も解消しま した。(北島)



事務局プロデューサー山名氏(中央)とポーズ!

TOPICS2 環境負荷低減の取り組み

昨年に引き続き、6月19日から9月18日まで、営業所 は昼休みの消灯、本社は 14:00 ~ 16:00 までの 2 時間 を30分ごとに分かれ印刷機を輪番に停止して工場全体 で30分ピーク電力を削減します。また、CO2吸収力が 優れ打ち水効果もあるサンパチェンスも5年連続で 植栽しました。夏期の電力不足、CO2 低減に少しでも 貢献できればと思っています。(田中リーダー)



サンパチェンスの植栽

TOPICS4 ウォーキングイベントへの参加

「ユニセフ・ラヴウォーク in かわさき」に今年も参加 しました。第4回となる今年のテーマは「世界の子ども たちを栄養不良から救おう」です。開催場所の生田緑地 は天候にも恵まれ、制覇した 4Km のコースには森・水・ 丘と起伏に富み、丘の上からの東京方面の景色も美しく

見えました。野鳥の 声、蛇、昆虫、など 普段触れることの できない自然とふ れあい、皆笑顔づく しで心も体も満足 しました。

(菊地リーダー)



プロジェクトは続く!!! 注目のプロジェクト活動進捗報告

横浜ひとまち百景

4月より横浜ビールレストラン 「驛の食卓」 様で絵葉書 とメッセージカードの販売、イラストの常設展示を行って おります。また5月には楽文堂様にてショーウインドー でのイラスト展示および絵葉書の販売をさせていただき ました。絵葉書は継続してお求めいただけますので横浜 にお立ち寄りの際は是非、いらしてください。(荒井)



イラスト展示中の楽文堂様

オープントイレプロジェクト

2011年12月26日に、28店舗だった賛同店舗は、 5月31日現在、48店舗まで増加しました。

ドラッグストア フィットケアデポ様や、横浜魚酒場 まるう商店様、北前そば高田屋 横浜山下町店様はじめ 多くの方々がご賛同くださいました。今後も、賛同店舗 が増えるよう、ご案内活動を続けていきます!(斉藤)



(左下) 横浜元町近沢レース店様

(右下) 霧笛楼様

メディア出演!!

4月から営業部荒井さんが NTTdocomo 様と横浜市が取り組むサイクルシェ アリング「baybike」の CM に出演しています。

CM: http://www.nttdocomo.co.jp/corporate/ad/tvcm/120326_02.html baybike: http://docomo-cycle.jp/yokohama/top

また~5月16日にはFM ヨコハマ様 [E-ne! (イーネ)~ good for you~] にて本社工場の環境対応をライブで紹介いただき、たくさんのお客様に注目いた だきました。(前村)



NTTdocomo 様の TVCM に出演中



E-ne! のレポーター、ホズミンこと穂積ユタカ様と記念

慶應義塾大学法学部法律 学科1年生の赤城裕之で す。5月8日からインターン 生として入社しました。こ れからたくさんのことを大 川印刷と関わる全ての方か ら吸収していきたいと思っ ています。

CSR の和の編集も担当い たしますのでどうぞよろし くお願いいたします。



'ollow

me

Facebook、ツイッターでリアルコミニュケーションを展開中!

リアルタイムで大川印刷や横浜の情報が受け取れます!

大川印刷Facebookページ: http://www.facebook.com/OhkawaPrinting

大川印刷ツイッター: http://twitter.com/OhkawaPrinting 大川社長ツイッター: http://twitter.com/tetsuo_ohkawa

大川ニュース好評配信中!

当社ではメールマガジン「大川ニュース」も配信しています。当社の活動や、社員の選んだ気 になる情報・イベント・セミナーなどのニュースをお届けしています。

大川ニュースの配信をご希望される方は「mail@ohkawa-inc.co.jp」までお願いします。



大川印刷 CSR推進委員会 大川哲郎 行

株式会社大川印刷 元 m-pochi

◆本社・工場 ◆横浜営業所

〒245-0053横浜市戸塚区上矢部町2053番地 TEL: 045-812-1131(代) FAX: 045-812-1135

〒220-0011横浜市西区高島2-14-12 ヨコハマジャスト2号館3F TEL: 045-441-2011 (代) FAX: 045-441-2014

URL: http://www.ohkawa-inc.co.jp

CSRの和へのご意見・ご感想は… csr-wa@ohkawa-inc.co.jp まで ※メールアドレスを開設いたしました。











FSC® 森林認証紙にノン VOC インキ(石油系溶剤 0%)を使用してグリーンプリンティング認定工場 で印刷しています。メディアのユニバーサルデザインを推進する NPO 法人メディア・ユニデザイン協会が「より多くの方が使いやすく見やすいメディア」であると認めた製品です。 2012.07.1000